

平成30年1月31日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

高校生フォーラム～税を考えよう～

半田法人会（愛知）

<活動対象> 高校生

<活動の概要>

- ・税をテーマにフォーラム（討論型のワークショップ）を開催。今回のテーマは「消費税増税は是か非か」。
- ・青年部会員が高校生と交わり、共に税について学び、一日を通じて楽しく納税への意識を高め、また社会人である部会員と共に学ぶことで、社会への参画意識も高めていける事業。
- ・私たち青年部会員にとっても、より社会人に近い高校生と交ざり、グループのファシリテーター役を行うことで、企業経営者としての学びにもつながっている。

<参考資料>

「高校生フォーラムと租税教室」（抜粋）

<摘要>

特になし

<出典>

同会からの情報提供。

※「同会からの情報提供」「過去の事例発表よりピックアップ」等の出典を表示します。

1. なにをやるの？

小中学生を対象とした租税教室だけでなく、より社会に近い高校生を対象とした税フォーラムとなります。

知多半島6校の生徒32名が6チームに分かれて、テーマ「**消費税増税は是か否か**」について1時間グループ討議をして意見を1つにまとめ、各グループごと5分以内で討議結果を発表します。

優勝チーム決定後、最後に全体として意見を一つにまとめます。

2. どうしてやるの？

「高校生フォーラムの目的」

より社会人に近い高校生に

社会の一員としての自覚を促し、

税に対する意識を高めてもらうため。

3. 事前の準備は？

1. 開催半年前から高校(先生)との打ち合わせ



2. 複数回協議の上、「**討議テーマ**」を確定



3. 夏休みの開催に向けて参加生徒の募集開始



4. 調整役(ファシリテーター)の**養成講座**を開催



5. 参加者確定後、チーム分けをして当日を迎えます